燕市報道資料

Tsubame City 燕　市

令和８年 11 月５日

市内の全中学生を対象に朗読劇「家族草子」開催

－作詞家 森浩美（もりひろみ）氏の朗読劇で家族からの愛情や大切さを伝えます－

燕市では、市立中学生を対象に朗読劇「家族草子」の鑑賞会を 11 月 12 日、13 日に燕市文化会館で開催します。この作品は、人気歌手などの楽曲 700 曲余りの作詞を手掛けた森浩美（もりひろみ）氏が、かけがえのない家族からの愛情の大切さや絆をテーマに、自身の短編小説を戯曲化した舞台です。この鑑賞会を通じて、「人を思いやる気持ち」や「支え合う心」を育み、人生を前向きに捉え、将来に夢や希望を持つことの意義を考える機会を作ります。

【燕市中学生合同鑑賞会　朗読劇「家族草子」の概要】

1.日　時：11 月 12 日(木)

・午前 10 時 30 分～11 時 30 分（小池中学校、燕北中学校）

・午後 2 時 30 分～3 時 30 分（吉田中学校）

11 月 13 日(金)

・午前 10 時 30 分～11 時 30 分（燕中学校）

・午後 2 時 00 分～3 時 00 分（分水中学校）

2.会　場：燕市文化会館(燕市水道町 1-3-28) 大ホール

3.対　象：市内中学校に通う生徒

4.森浩美氏プロフィール：作詞家、作家。

SMAP「青いイナズマ」「Shake」「ダイナマイト」、森川由加里「SHOW ME」、Kinki kids（現 DOMOTO）「愛されるより愛したい」、田原俊彦「抱きしめて tonight」等、作品総数は 700 曲を超える。

また、家族を題材とした「家族の言い訳」「こちらの事情」、「夏を拾いに」等のロングセラー小説多数。なお、小説は、200 校以上の中学、高校、大学の入試問題に使用されている。



家族草子とは

「家族草子」は、森浩美の短編小説を自らが戯曲化し、それを演出家の保倉大朔が丁寧にかつ繊細に表現。10 名程度の演者に加え、ギターやピアノなどの生演奏を交えて創り出す舞台です。
演者は台本を手にしていますが、椅子に座ったままではなく舞台上を動き回ります。
それはお芝居、いえ、まるで自宅の居間でテレビのホームドラマを観るような感覚 。
そして何より、その名の通り、すべてが家族の物語です。



本件についてのお問い合わせ先
教育委員会　学校教育課：藤野、岡田
電話：0256－77-8191（直通）